

# 大阪大学いちょう祭 公開企画 「これが大阪大学の最先端！」



主催：免疫学フロンティア研究センター (WPI-IFReC)  
大型教育研究プロジェクト支援室 最先端研究開発支援プログラム (審美プロジェクト & 川合プロジェクト)

協力：大阪大学21世紀懐徳堂

# 免疫研究の 最前線！ 2012 4.30

みる👁️ きく👂 かたる🗣️ サイエンスカフェ☕

サイエンスカフェ

## 「樹状細胞は免疫のキープレイヤー」

カフェ・オンザエッジ8

—先端の科学者が見ているコト・モノ—

免疫細胞の一種である樹状細胞の発見は、2011年のノーベル医学生理学賞の対象となりました。樹状細胞を中心とした細胞群(抗原提示細胞)は、私たちの免疫機構に必須の細胞です。樹状細胞は、微生物の感染を素早く察知するシステム(自然免疫)と、その感染にじっくり対処するシステム(獲得免疫)をうまくつなげて、適切な免疫応答を成立させます。樹状細胞の研究により、病原体ワクチンばかりでなく、炎症性疾患治療薬の開発につながる成果が期待されています。改正教授は樹状細胞の日本における第一人者であり、この分野の最新の研究成果を分かりやすく披露してくれます。

◎参加費 → 無料

◎事前登録 → 不要

ゲスト：改正 恒康 さん (大阪大学免疫学フロンティア研究センター教授)

ファシリテーター (科学を伝えるひと)：坂野上 淳 (大阪大学免疫学フロンティア研究センター准教授)

日時：2012年4月30日(月・祝日) 13:30→15:00 場所：テクノアライアンス棟 1F アライアンスホール (吹田キャンパス)

[ゲスト紹介]

### 改正 恒康 さん



大阪大学医学部医学科卒業  
大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了  
大阪大学医学部 助手  
ドイツ ケルン大学留学  
兵庫医科大学 講師  
大阪大学微生物病研究所 助教授  
理化学研究所免疫アレルギー科学総合研究センター チームリーダー  
2011年4月より現職  
第12回日本免疫学会賞受賞 (2009年) 受賞題目「樹状細胞機能制御の分子基盤」

### サイエンスカフェって？

サイエンスカフェは、1990年代後半からヨーロッパで始まった比較的新しいイベントです。その名の通り、「カフェのような雰囲気の中で科学を語り合う」というものです。サイエンスカフェでは、ともしれば敬遠されがちな科学の話題を、各国の文化やニュース性に合わせて参加者が共有することが大切であると考えられています。



[交通アクセス] 大阪大学テクノアライアンス棟  
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番8号

1 阪急電鉄北千里駅から徒歩18分(約1.4km)

2 モノレール阪大病院前から徒歩10分(約900m)

3 阪急バス「阪大本部前」下車徒歩5分(約400m)